



TITLE:

りすとノ經濟發達階段說二就テ

AUTHOR(S):

本庄, 榮治郎

CITATION:

本庄, 榮治郎. りすとノ經濟發達階段說二就テ. 經濟論叢 1917, 5(4): 585-592

ISSUE DATE:

1917-10-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127271>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號四第 卷五第

行發日一月十年六正大

論說

物價變動ノ原因(一).....法學博士 河上 肇

經濟的行爲ト道德的行爲トノ關係(二).....法學博士 田島 錦治

所得稅ニ於ケル所得ノ意義(三).....法學博士 神戶 正雄

同盟罷工ト和解及仲裁制度(四).....法學士 河田 嗣郎

墨子ノ經濟思想(五).....法學士 小島 祐馬

割地ト村落制トノ關係.....法學士 牧野 信之助

現代の保險ノ成立(六).....法學士 小島 昌太郎

時事問題

米國ノ參戰.....法學博士 戸田 海市

物價調節ノ意義及效果.....法學士 河田 嗣郎

雜錄

りすとノ經濟發達階段說.....法學士 本庄 榮治郎

各國ニ於ケル物價騰貴ノ趨勢.....法學士 山本 美越乃

戰後ノ太西洋定期航路.....法學士 小島 昌太郎

朝鮮ノ關稅ニ就キテ.....法學博士 神戶 正雄

露國ノ定期刊行物ニ就テ(二).....文學士 高 倉 輝

しゆもらあ教授ノ史傳ニ就テ.....文學士 長 壽 吉

雜 錄

りすとノ經濟發達階段

說ニ就テ

本庄榮治郎

一、序言。現今ノ諸國ヲ通觀スルニソノ經濟狀態ハ頗ル區々ニシテ或ハ農業ヲ以テソノ國ノ主要ナル産業トセルモノアリ。或ハ商工業ヲ以テ立國ノ大本トセルモノアリ。而シテソノ現狀ノ異レルト同シク過去ヨリノ發達ノ順序ニ於テモ亦相違スル所アリ。或ハ漁獵牧畜ノ二時代ヲ經テ農業時代ニ進メルモノアリ、或ハ牧畜時代ヲ經スシテ直ニ漁獵時代ヨリ農業時代ニ入リシモノモアル可シ。當ニソノ發達ノ順序ニ於テ異ルノミナラスソノ速度ニ於テモ亦必スシモ同一ニ非ス。或ル國カ數百年ノ長年月ヲ費シテ經過シタル行程ヲアル國ハ僅々數十年ニシテ成就セシコトモアル可キ也。カクノ如ク各國經濟ノ發

達ハ千差萬別ナリト雖、而モ之レカタメニソノ發達變遷ハ紛雜ヲ極メ到底之ヲ系統的ニ概括シ得サルカ如キモノナリト思惟スヘカラス。モトヨリソノ史實ハ千種萬態ニシテ頗ル複雑多岐ニ亘ルト雖モ、此等ノ史實ヲ一貫セル通有ノ法則ヲ求メンコトハ必スシモ不可能ニ非ス。是レ歐米殊ニ獨逸ノ學者ガ或ハ生産ノ方面ヨリ、或ハ交換ノ形態ヨリ、或ハ又生産消費ノ關係ヨリ、其他種々ノ標準ヨリ經濟發達ノ階段(Wirtschaftsstufe, economic stage)ナルモノヲ説明シ、凡ソ經濟ハ如何ナル順序ヲ經テ發展スルヲ常トスルカヲ論述セル所以ニシテ、經濟史研究ノ窮極ノ目的亦茲ニ存スルモノトイハサル可ラス。

而シテ此等學者ノ見解ニツキテ一言注意スベキモノアリ。即チ第一期ノ甲狀態ヨリ第二期ノ乙狀態ニ移ルトイフコトハ、第一期ニハ乙狀態ハ全然存在セス且第二期ニ於テハ甲狀態ハ全クソノ姿ヲ沒シテ毫末モ存在セストイフニハ非ス。タダ第一期第二期ニ於テ主トシテ行ハルル

所ノモノガ某狀態ナリトイフニ過キサル也。之ヲ例フレハ物々交換ノ時代ヨリ進ミテ貨幣經濟ノ時代ニ入ルトイフコトハ、第一期ニ於テハ貨幣ハ少シモ利用セラレス、又第二期ニ於テハ田舎ノ隅々ニ至ルマテモ苟モ物ノ交換ニハ必ス貨幣ヲ以テシ、物ト物トヲ交換スルコトハ全然存在セストイフ意味ニアラス。タダ第一期ニテハ物々交換ガ主トシテ行ハレ、第二期ニテハ貨幣ニヨル交換ガ主トシテ行ハルトイフニ過キサル也。サレハ第一期ニ於テモ或ル地方ニハ貨幣行ハレ、又第二期ニ於テモ物々交換ハ尙存スルカ故ニ、コノ學說ハ誤謬ナリトイフカ如キ種類ノ批難ハ、屢唱ヘラルル所ノモノナリト雖、是レ全ク論者ノ說ヲ解セサルニヨルモノニシテ批難ソノモノガ誤謬ナリ¹⁾ 要スルニ經濟發達階段說ハアル時代ニオケル主要ナル現象ニ就テ之ヲイフノミ、ソノ現象ノ萌芽ガ何レノ時代ニ存シ、ソノ根跡ガ何レノ時代マテ存續セシヤヲ問フモノニ非ル也²⁾。コノ點ハ經濟發達階段ノスヘテノ學說ニ適用シ得ヘキモノ也。以下述ヘントスル

所ノモノハコレ等スヘテノ學說ニアラスシテ單ニりすこノ說ニツイテ論セントスルニ過キス。
ニ、りすこノ說ノ大要。Friedrich Listハ經濟發展ノ階段ニ關スル研究ノ嚆矢ト認メテ差支ナキ人ナルガンノ著 Das nationale System der Politischen Oekonomie, 1841³⁾ニ於テ『國民經濟ハ階段的ニ發展シ行クモノニシテ、歐洲ニ於テ數世紀ヲ通シテ行ハレタル過程ハ、野蠻ノ狀態ヨリ牧畜ノ狀態ニ進ミ、更ニ農業ノ狀態ニ入りソレヨリ工商業ノ狀態ニ進ムモノナリ』(Erst hier ist mir die stufenweise Entwicklung der Volkswirtschaft klar geworden. Ein Prozess, der in Europa eine Reihe von Jahrhunderten in Anspruch nahm, geht hier unter unsern Augen vor sich— nämlich der Übergang aus dem wilden Zustand in den der Viehzucht, aus diesem in den Agrikulturzustand und aus diesem in den Manufaktur- und Handelsstand. S. 11)ト說キ又『國民經濟的發展ニ關シテハ各國民ノ主要ナル發展の階段ハ野蠻狀態、遊牧狀態、農業狀態、農工商狀態トイフ

1) 津村博士國民經濟原論四十三年合本版84頁ノList說ニ對スル訂正ノ如キ、Bücher說ニ對スル Belowノ批難ノ如キ、又List說ニ對スル Philippovichノ批難(9. aufl. S. 7)ノ如キソノ一例ナリ。
2) Grosse, Die Formen der Familie und die Formen der Wirtschaft. S. 26. Bücher, Die Entstehung der Volkswirtschaft. 7. aufl. 3. 148.
3) Sammlung sozialwissenschaftlicher Meister, 3. 1904.

カ如クニ進ムモノナリ』(In Beziehung auf die nationalökonomische Ausbildung sind folgende Hauptentwicklungsgrade der Nationen anzunehmen: *ziviliser Zustand*, *Hirtensland*, *Agrikulturstand*, *Agrikulturmanufakturhandelstand*. S. 63)ト説ケリ。而シテ氏ガコノ説ヲ立テタルハ特ニ經濟發展ノ階段ゾノモノヲ論究センカタメニ非スシテ、ソノ商業政策ヲ講究シ、時代ニ應シテ適當ナル策ヲ立テサル可ラサルコトヲ説カンカタメニ外ナラス。即チ彼ノ説ク所ニヨレハ經濟ノ發達ト文明ノ進歩政治上ノ發達及ヒ一國實力ノ増大トハ相互ニ關聯スルモノナルガ、而モコレ等ノ發達ノ根本タルヘキモノハ工業ノ發達ニアリ。故ニ一國ノ發展ヲ期セントスルモノハ須ク工業ノ發達ニ努メサル可ラス、而シテ農業國民ガ工業國民ニ進マンカタメニハ先ツ先進工業國ト自由貿易ヲ行ヒ、之レニ由リテソノ工業品ヲ輸入スルノ必要アリト雖、既ニ内國ニ於テ多少工業ノ發達スルニ及ンテハコノ國內工業ヲ保護シソノ發達ヲ助成スルカタ

メ保護貿易政策ヲ採ルノ必要アリ。然レトモ保護政策ハ一時權宜ノ手段ニ外ナラサルカ故ニ、ソノ國ノ工業ニシテ大ニ發達スルニ至ラハ之ヲ撤回シテ自由貿易ニ移ラサル可ラス。而シテカクノ如ク外國貿易トノ關係ヨリ見ルトキハ一國ノ發達ハ大凡次ノ如キ四時期ニ分ツコトヲ得ヘキ也。即チ

第一期、外國ノ工業品ヲ輸入シ内國農產品及原料品ヲ輸出スル農業發達ノ時代

第二期、外國工業品ノ輸入ニ伴ヒ内國工業ノ發達セル時代

第三期、國內工業品ヲ以テ國內需要ノ大部分ヲ充シ得ヘキ時代

第四期、内國工業品ノ大部分ヲ輸出セラレ、外國原料品及農業生産物ヲ輸入セル時代
コレナリト。而シテコノ四期説ハ前述ノ農業狀態以下ニ充當シ得ヘキコトハ自ラ明カ也。蓋コノ第一期トシテ説ク所ノモノハ未タ工業ノ發達セサル農業時代ナルヲ以テ也。カクノ如クリズトノ論スル所ハ主トシテ農工商業ノ發達ニ存シ

必スシモ如上スヘテノ階段ニ就キノ特質ヲ詳説セサルハ、蓋ソノ論述ノ主意ガ經濟發達ノ階段ソノモノニ存スルニ非ルガ爲メ也、

三、りすと説ニ對スル誤解、りすとハ上ニ述ヘタル農業以下四期區分説ニツイテハPeriodeナル語ヲ用キタルモ全經濟發達階段ニツイテハPeriodeナル語ヲ用キスシテZustandナル語ヲ用キタリ。勿論ソノ意味ニ於テハ差異ナカル可シト雖、りすとノ説ヲ嚴格ニ傳フルモノトシテハPeriodeナル語ヲ以テスルハ不可ナリトイハサル可ラス。

次ニりすとハ必スシモ世界萬國ノ經濟ガ何レモ右ノ順序ニテ發達スルモノナリトハ明言シ居ラサルカ如ク、前示ノ原文ニハ歐洲諸國ニ於テ云々トイヘルノミ。故ニコノ點ニツイテモ、りすとノ説ヲ以テ「洋ノ東西ヲ論セス時ノ古今ヲ問ハス皆一樣ニカクノ如キ順序ニテ發達スルモノナリ」トナスハ中ラサルモノトイフヘク、或ハ「溫帶地方ノスヘテノ國民」ハ何レモ右ノ階段ヲ經過ストイフコトモ必スシモ嚴格ニりすとノ

意ヲ傳フルモノニアラサル可シ。りすとノ説ハ歐洲ノ事例ニヨリ大凡右ノ如キ經濟狀態ノ變化アリトイフ位ノ程度ノモノニシテ、從來屢唱ヘラレタル如クスヘテノ國ガ必ス經過セサル可ラル階段ナリトスルカ如キ絕對的ノモノニアラサル可シ。

最後ニ、彼ハ第一期ニ對シテハ漠然 *wilder Zustand* ナル語ヲ用キテ從來屢傳ヘラレタル如ク漁獵時代 *Periode der Jagd und Fischelei*, *Periode des Jägers- u. Fischerlebens* 等ノ語ヲ用キス。(コノ發達階段説ト關係ナキ他章ニ於テハ *Verfolgt man den Bildungsgang ganzer Nationen und ihren Übergang aus dem Jägerstand in den Hirtenstand, aus diesem in den Agrikulturstand, usw.* 等ノ語アルモ之ヲ以テ野蠻狀態ナル語ト漁獵狀態ナル語トガ全然同一ナリトハ見ルヲ得サル可シ) 尤野蠻時代ニアリテハ人民ハ殆ント全ク自然ノ產物ニ倚賴シ或ハ樹實ヲ食ヒ草根木皮ヲ探索シ、或ハ山野ニ獵シ河海ニ漁スルノ狀態ナルヲ常トスルカ故ニ、之ヲ漁獵時代トスルモ

5) 津村、前掲、80頁、同氏、商業政策上卷140頁ニモ同様ノ語句アリ

6) Hildebrand, Die Nationalökonomie der Gegenwart und Zukunft. S. 65

7) Philippovich, S. 6. Bücher, S. 88. 津村原論 80頁

8) a. a. O. S. 359.

差支ナキカ如シト雖、嚴格ニイフトキハ wilder Zustand トイフ方一層廣義ナリトイハサル可ラス。即チ wilder Zustand ナル語ハ動物性食料ヲ主トスルト植物性食料ヲ主トスルトヲ問ハス、人類原始ノ生活トシテアラハルヘキ幼稚ナル一般狀態ヲ指スモノト見ルヲ可トス。故ニ一に「すが漁獵時代ナルモノハ漁撈ニ適セル河海、狩獵ノ行ハルヘキ山地ニハ之ヲ認ムヘキモ、其他ノ廣大ナル地球表面ノ部分ニツイテハ無意義ナリトイヘルカ如キ批難ハ、原字ノ儘野蠻狀態ナル語ヲ用フルトキハ生セサルヘキ筈ノモノ也。福田博士ハ wilder Zustand ナル語ヲ指摘シツツ尙且之ヲ「狩獵及漁業時代」トシテ紹介セラレタルハ¹⁰⁾余ノ解スル能ハサル所也。

四、りすと説ニ對スル批難。上述ノりすとノ説ニ對スル批難ハ大別シテ二トスヘシ。一ハソノ立脚點ニ關スルモノニシテ、他ハ實例ニ關スルモノコレ也。前者ニ就テハりすとノ説ハ單ニ生産ノ一方面ヨリ觀察シタルニ過キササルヲ以テ經濟ソノモノノ發達ヲ示スモノニアラストノ批難

アリ。¹¹⁾然レトモ農工商トイフカ如キ生産上ノ大事實ノ發達消長ハ單ニ當該生産方面ノミノ變化ニ止ラスシテ、他ノ生産方面ニモ影響ヲ及ホスモノニシテ、均シク農業トイフモ農業時代ニオケル農業ト商工業時代ニオケル農業トノ間ニハ大ナル差異アリ、加之コノ生産部門ニオケル變化ハ自ラ交易消費分配等ノ各方面ニモ亦大ナル影響ヲ與ヘ、一般經濟ノ性質ニ變化ヲ來スコト明カナルカ故ニ、生産方面ヨリスルモ一般經濟ノ發達ヲ説クヲ得ヘキ也。カノ農業時代トイヒ工業時代トイフハ、單ニ農業工業ソノモノノミヲ指スモノニ非スシテ、農業隆盛時代ノ經濟發達ノ狀態ヲ示シ、或ハ工業ノ發達ニ伴ヘル一國經濟狀態ノ進化ヲ示スモノトセハコノ種ノ批難ハ未タ探ルニ足ラサル也。

後者ニツイテハソノ説甚タ多キモ今ソノ一二ヲ列舉センニ、ひるでぶらんどハ曰ク¹²⁾りすとノ説ハ英國ノ歴史ニ就テ立言セラレタルカ如シト雖各國民ガ何レモ此ノ如キ階段ヲ經テ發達セルモノナリトハイフコトヲ得ス、コノコトハ英國

9) Knies, Die Politische oekonomie vom geschichtlichen Standpunkte, 1883, S. 364.

10) 國民經濟原論、總論、326頁、82頁、 11) 福田、前掲、83頁、津村、原論、82頁

12) Philippovich, a. a. O. S. 6-7.

13) Hildebrand, a. a. O. S. 73-76. derselbe, Naturalwirtschaft, Geldwirtschaft und Creditwirtschaft (Jahrbücher für Nationalökonomie und Statistik. Zweiter Band) S. 1-2

ノ發達ト和蘭ノ經濟史トヲ比較セハ自ラ明カナラン。英國ニ於テモ必スシモ農業ヨリ工業ニ進ミ、更ニ商業ノ發達ヲ來タセルモノトハ限ラス、ゑりざべす時代ヨリ十八世紀ノ半頃ニ至ルマテ英國ノ商業航海ノ發達ハ、英國工業ノ發達ノ結果ニハアラス、ソノ工業ハ却テ商業ノ發達及ヒ殖民地ノ獲得ニヨリテ近時盛トナルニ至レルモノ也。各國民ハ何レモ特有ノ經濟發達ノ經路ヲ有ス。或ハ農業ヨリ進ムモノアリ、或ハ牧畜ヨリ他ノ階段ニ入ルモノアリ、或ハ航海業ヨリ始マリテ他ノ經濟階段ニ進ムモノアリ、兎ニ角人民カ生活ヲ遂クルニツイテ先ツ第一ニ倚賴スル處ノモノハ即チ自然ニシテ、而モソノ生活ヲ營ム上ニ重大ナル關係ヲ有スル土地及ヒ氣候ハ處ニヨリテ種々異ル以上ハンノ生活ノ狀態、産業ノ發達ノ如キ又決シテ同一ナルコトヲ得サル也。アル特段ナル一國ノ經濟的發展ノ狀況ヨリシテ、直チニ之ヲ他ノ事情ノ異レル國ノ場合ニ應用スルハ、非歴史的ニシテ且獨斷の也云々ト。其他くにす¹⁴⁾モリすとノ五階段說ニ反ス

ル實例ノ存スルコトヲ說キ、ふいりつばびつちモ獨逸ニハ漁獵牧畜時代ナキコトヲ擧ケタリ。此ノ如キ事例ハ甚タ少カラサルカ故ニリすとノ說ハ其儘之ヲ是認スルコトヲ得ス。然レトモ『商業ナクシテ農業工業ノ發達セル時代ナク、又工業ヲ以テ國民經濟高度ノ發達ノ標識トナスハ不可ナリ、蓋經濟發達ノ幼稚ナル自然人 (Natural Polter)ノ間ニ於テモ往々ニシテ進歩セル工業品ヲ見ルコトアルヲ以テ也』¹⁵⁾トイフカ如キ批難ハアマリニliterallyニ過キ、リすとノ眞意ヲ捕捉セサルモノアルニ似タリ。蓋、農工時代ノ語ハ絕對ニ商業ノ存在ヲ否認スルノ意ニアラス、ソノ時代ニ特ニ盛ナリシ産業ガ農工二業ナルコトヲ指スノミニシテ、コノコトハ尙前述ノ農業以下四期區分說ニヨリテ見ルモ之ヲ察スルコトヲ得ヘシ。又自然人ノ間ニ工業製品存スレハトテ、コノ未開狀態ヲ指シテ工業時代トイフ能ハサルハ明カニシテ、リすとノイフ所ハ經濟ノ發達セル時代ニオケル代表的産業ノ一ガ工業ナルコトヲイヘルニ外ナラサル也。コノ種ノ批難ハ既ニ

14) a. a. O. S. 364 ff

15) a. a. O. S. 7

16) Philippovich, a. a. O. S. /

序言後段ニ於テ余ノ注意セシ所ノモノ也。

五、りすと説ノ維持。要スルニりすとノ説ハ經濟ノ發達ハ即チ生産方法ノ複雑トナルニ至ルコトヲ示セルモノニシテ、カクノ如ク生産方法ガ複雑トナル所以ハ、人口ハ時代ト共ニ増加スルカ故ニ之ニ對スル衣食ノ途ヲ講スルノ必要アルカ爲メニ外ナラス。¹⁷⁾ 既ニひるでぶらんどモイヘル如ク人類ガソノ生活ヲ遂クル上ニ於テ第一ニ倚賴スルモノハ自然ナリ。故ニソノ始メニ於テハ自然ニ服從シ天產物ノ採集ニヨリテ生活ヲ營ミタル人類モ、人口ノ増加スルニ伴ヒ最早天產物ノ探求ノミニ倚賴スルヲ得ズ、或ハ獸畜ヲ飼養シ或ハ植物ヲ栽培シテ衣食ノ途ヲ立ツルニ至ルモノニシテ、カクノ如ク自然ニ對シ多少ノ勞力ヲ加フルニ至リテ生産方法ハヤヤ進歩シタルモノトイフヘク、更ニ人口著シク増加シソノ勞力モ粗放的勞力ヨリ進ミテ集約的勞力ニ移リ、次第ニ自然ヲ克服シテ人類ノ生活ニ適應セル狀態ヲ作り出シ、之レニヨリテ經濟ヲ營ムニ及ンテ生産ノ手段方法ハ益々複雑ヲ極ムルニ至リ

シモノ也。カノ所謂野蠻狀態ノ如キハ天然ニ服從スルコト最モ大ナル時代ナルガ、人口少シク増加シ多少ノ勞力ヲ必要トスルニ及ンデ牧畜農業ノ時代トナリ、更ニ進ミテ工業商業ニ至リテハ自然ヲ克服スルコト最モ大ニ、勞力ヲ要スルコト亦最モ切ナリトイハサル可ラス。カク考フルトキハ野蠻矇昧ノ狀態ヨリ次第ニ進ミテ農工商ノ狀態ニ至ルハ自然ノ大勢ニシテ大體ニ於テ之ヲ認メサルヲ得サル可シ。世人或ハ我國ハ農業國ナリトイヒ、或ハ工業國ニ進マサル可ラストス。ソノ農業國トイヒ、工業國トイフハ、アル時代ニ於ケル最モ主要ナル産業ヲ代表トシテコレヲ稱スルモノニシテ、農業國ナルカ故ニ工業商業ハ全然存在セズトイフノ意ニアラス、而シテカクノ如キ語ヲ聞ク所以ハ農業國ニハ之ニ應シタル政策アリ、工業國タルカタメニハコレニ適應セル政策ヲ立テサル可ラサルコトヲ説ケルモノニ外ナラザルベシト雖、亦大體ニ於テ經濟ノ發達カ農ヨリ工商ニ進ムコトヲ認メ我國モ亦農業狀態ヨリ一步進ミテ工商業狀態ニ入ラサル

17) Cohn, Grundlegung d. Nationalökonomie. S. 464 ff.

18) 小川博士、經濟講話 72-75 頁

經 緯 各國ニ於ケル物價騰貴ノ趨勢

可ラサルコトヲイヘルモノニ非ルナキ乎。サレ
ハリすとノ經濟發達階級說ハ其儘ニ之ヲ是認ス
ルコトヲ得スト雖、野蠻時代ヨリ農業時代トナ
リ更ニ商工業時代ニ進ムトイフカ如キ發達ノ大
勢ハ當然之ヲ認ムヘク、又自然ト人口ト勞力ト
ノ關係ヨリ生スル發達ヲ明カニシ、且之ニ適應
セル政策ヲ探ラサル可ラサルコトヲ說キタルリ
すとノ功績ハ之ヲ沒ス可ラサル也。